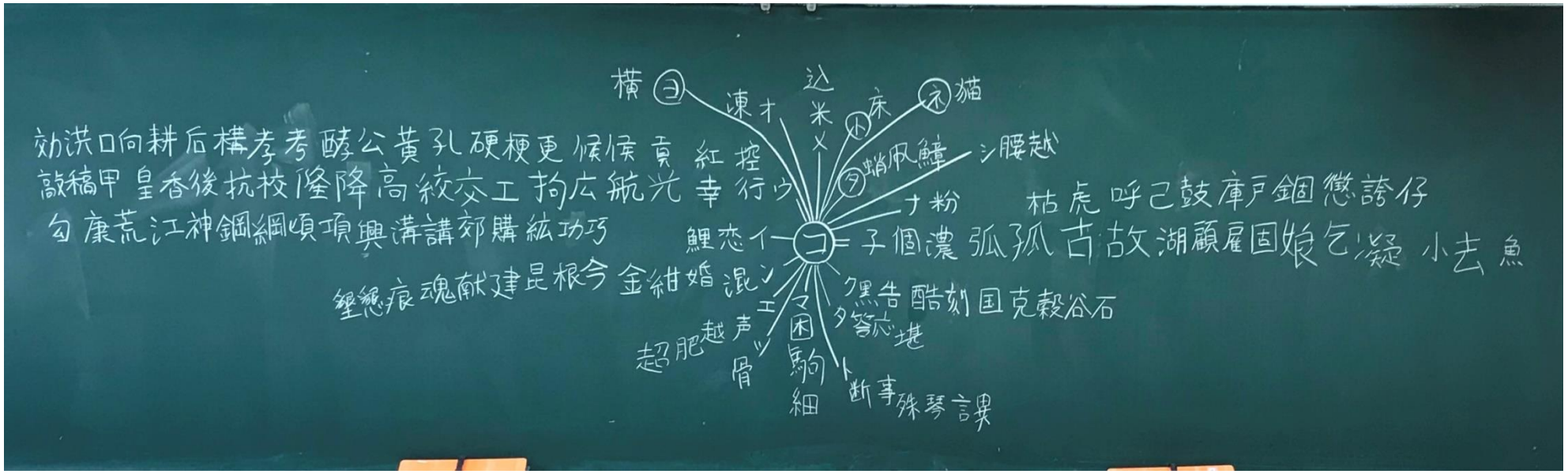
漢字の花火　コ



「コウ」がとても多い。

「恋」を書くのは誰かな、と内心期待して見守り、書く生徒がいたら、「お、書いてくれましたね。誰が書くかと楽しみにしてたんだ」と受ける。

「猫」「横」「凧、蛸」「床」など、コで終わる単語（やまとことば）が出ると、「お、そうか」という発見感がある。

タコで「章魚」を一文字にしたのは、すし屋の湯のみに描かれている「魚偏づくし」から。